令和8年度　学力向上を図るための全体計画

三鷹の森学園三鷹市立高山小学校

関係法規・市教委教育目標

・自分を愛し、他人を愛し、三鷹を愛する人
・確かな学力と健康でたくましい心身を備え、自ら学び続ける人
・規範意識を備え、社会の一員として自ら責任ある行動がとれる人
・国際的な視野とチャレンジする心をもち、積極的に社会や地域に貢献できる人

学校教育目標

〇考える子ども（知育）

〇心豊かな子ども（徳育）

〇じょうぶな子ども（体育）

〇実行する子ども（才育）

児童の実態、期待される児童像

・基礎・基本の習熟を図ることができている
・自分の考えを書きまとめたり、説明したりする力が課題
・自分の判断や考えを適切に表現できる
・知識・技能を活用し、主体的に問題解決ができる

学力向上に関わる学校経営方針

【三鷹の森学園　4つの資質・能力の育成】
①社会の変化に対応し、自ら学び、知識・技能等を主体的に更新する力
②自ら問題を発見し、筋道立てて考えたり、試行錯誤したりしながら問題を解決する力
③多様な人々との対話や協働を通じて、新たな価値やよりよい社会を創造していく力
④困難な場面に直面しても、ねばり強くかつ柔軟な発想で人生を切り開いていく力

本校が目指す「確かな学力」

【三鷹の森学園 「学び」のスタンダード】

①よく聞き、書き留める力

②協働的に学ぶコミュニケーション能力

③文や絵・図での表現力や説明する力

④自ら質問したり、調べたりする力

⑤学習を計画する力、振り返る力

⑥学習内容の要点を整理する力、
他教科のつながりを考え取り組む力

教科指導の重点

・問題解決学習を中心に各教科の見方・考え方を働かせた主体的な学びの実現
・基礎基本の定着と学ぶ楽しさを実感することができる授業の実現

道徳教育の指導の重点

道徳的価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的、多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度の育成

総合的な学習の時間で身に付ける「学力」の重点

・小・中一貫教育の視点に立ったキャリア・アントレプレナーシップ教育の推進
・「人とのつながりをもつ力」の育成を目指し、地域素材や人財を生かした単元設定

特別活動の指導の重点

〇人間的なふれあいの中で思いやりの心を育て、集団への所属意識や連帯感を養う。
〇自主的・自発的な活動を重視し、協力・奉仕の精神や態度と実践力の育成
〇集団への所属感や連帯感を深め、一員として責任ともち、個々の力を発揮する児童の育成

進路指導の重点

・小・中、小・小との連携による一貫教育の取組の推進
・自己のよさや可能性を発見し、将来に向かって夢や希望をもち、よりよく生きるために努力する態度の育成

生活指導の重点

学校生活全般での経験を通して児童の自己指導能力を養う中で、安全に関する知識と対処法を理解し、地域社会の中で自他の安全を守る力や他者に配慮して行動することができる力の育成

本校の授業改善に向けた視点

指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内研修・研究の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
・昨年度の研究の成果を活用し、授業の質的改善を図る。 ・表現力を高めるための言語環境の整備、教科横断的な取り組み、および日常生活での表現力の育成を図る。 ・対話的な学びの場を工夫して設定する。	・高学年の「外国語」、中学年の「外国語活動」へのつながりを意識し、低学年でも「外国語活動」を年間15時間実施する。	・定期的なOJTの実施 ・タブレット端末を活用する研修の実施 ・校内研究の重点を「自分の考えを表現できる児童の育成」とし、対話的な学びの場を工夫することで、児童が問いに対して自分の考えをもち、学年の実態に合わせて表現する	・個々の児童の伸びと課題を把握する形成的評価の工夫 ・単元のねらいに応じた指導と評価の工夫	・「学園サポーター」を活用し、地域の協力を積極的に活用した学習活動を展開 ・家庭学習の習慣化を図る。 ・読む視点を明確にするなど、様々な音読の習慣化を図る。

		ことができる児童の育成を目指す。		